

## 須藤家住宅奥座敷

奥座敷は、敷地背後に建つ木造 2 階建切妻造瓦葺の建物で、南東角がトイレを挟んで主屋に接続している。北側はかつて土間であった部分が居間に改造され、渡り廊下によってつながり、外壁は下見板張りとなっている。

1 階は中央の寝室の両側に浴室を設け、2 階は中央の押入れを境にして北側が 6 帖、南側の 8 帖の和室で、北側東面に廊下を設ける。この奥座敷は寄宿舍であったといわれている。

名 称	員数	構造、形式及び大きさ	年 代
須藤家住宅奥座敷	1 棟	木造二階建、切妻造、棧瓦葺、 下見板張 1 階 77.86m、 2 階 52.60m 合計 130.46m	明治時代後期



奥座敷南面



奥座敷背面